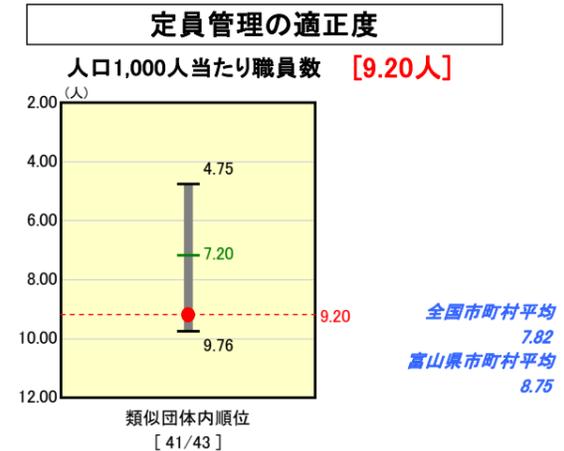
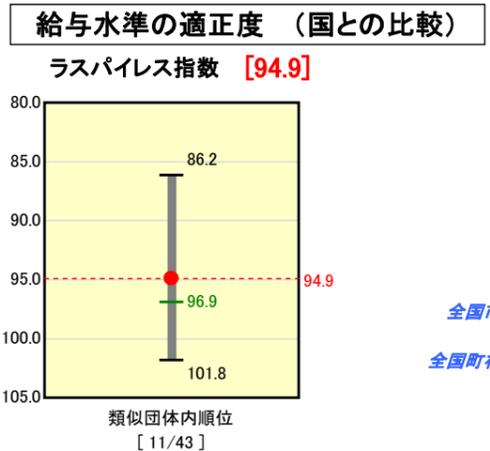
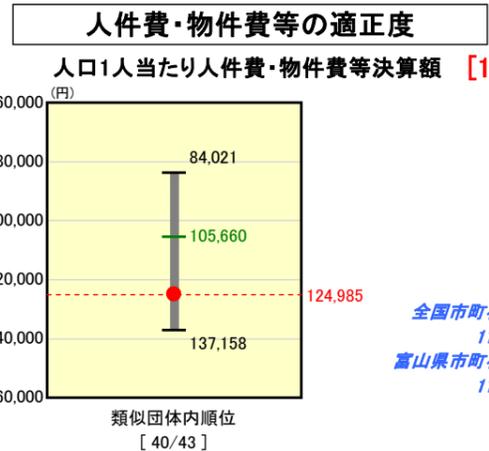
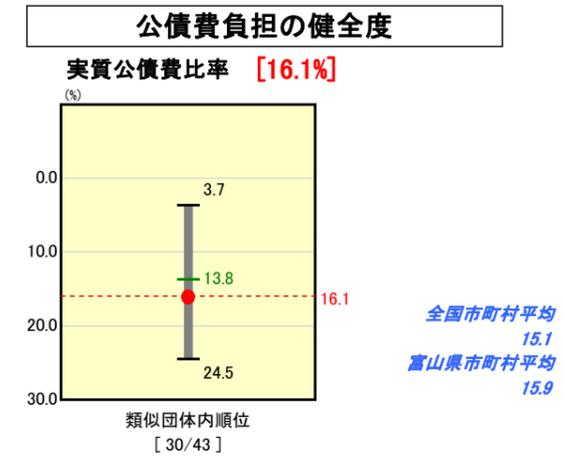
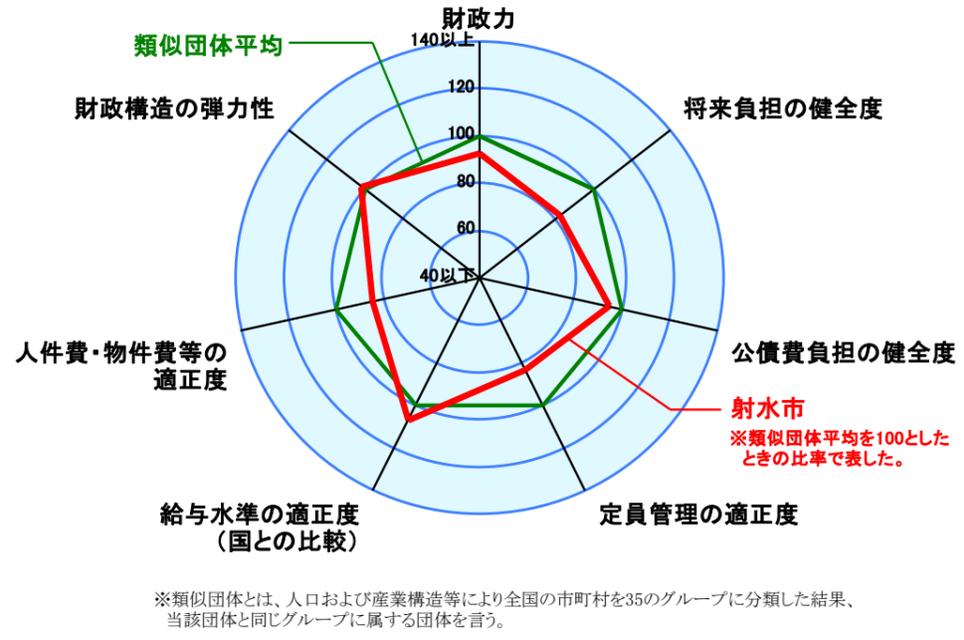
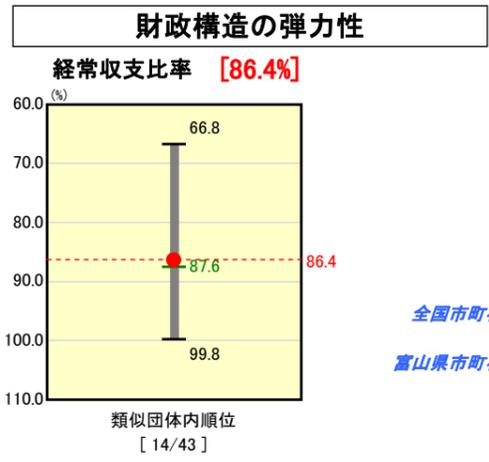
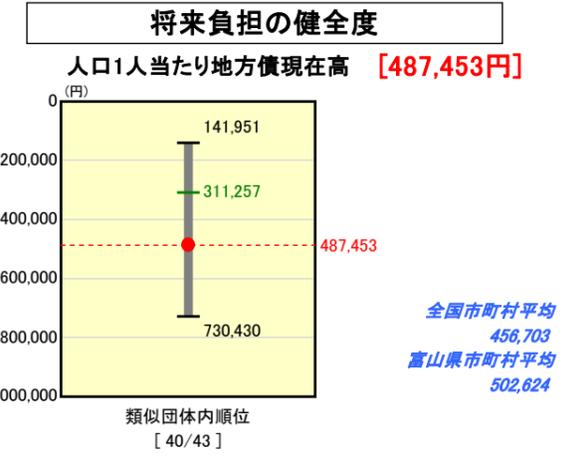
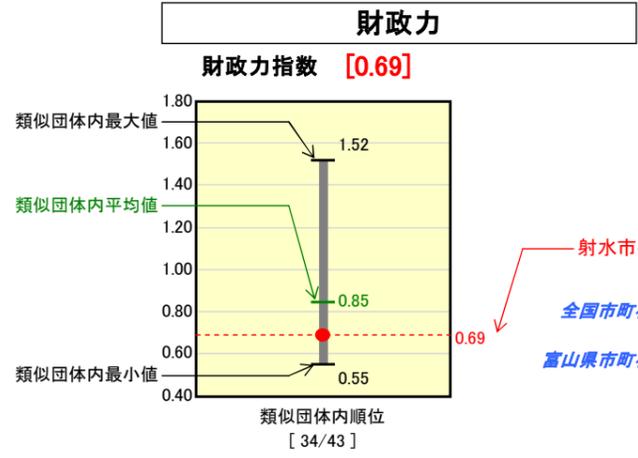


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

富山県 射水市

人口	95,003 人	(H19.3.31現在)
面積	109.18 km ²	
歳入総額	36,478,965 千円	
歳出総額	35,516,561 千円	
実質収支	520,563 千円	



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 財政力指数が上昇したのは、主に平成18年度から計算方法が変更になったため、依然として類似団体平均を大きく下回っている。税収増加等歳入確保の取組みにより、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率: 事務事業の見直し等により、経常経費の縮減に努めているが、86.4%と前年度水準となった。類似団体平均は下回っているものの、依然として高い水準にあり、引き続き、民間活力の導入等による維持管理経費の縮減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体に比べ高くなっているのは、主に人件費を要因としており、職員数が高い水準にあることや、合併関連の普通建設事業の実施により事業費支弁給が高くなっているためである。

ラスパイレース指数: 国の新人事制度による職務給の原則に基づき、年功による給与処遇の見直し、職務職責に応じた構造への転換、枠外昇給制度の廃止等の措置を講じており、指数は94.9と全国平均及び類似団体平均を下回っている。今後とも国や他市町村の状況を見ながら、各種手当等の見直しを行い、一層の給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数: 平成18年3月に定員適正化計画を作成、実行し始めたばかりであること、合併前市町村ごとに地区行政センターを設置していること、市内に私立保育園が少なく市立保育園の割合が高いこと等により類似団体平均を上回っている。今後、定員適正化計画に基づき、退職者補充を1/3程度に抑制し、平成22年4月までに職員を8.8%削減する。

実質公債費比率: 合併前市町村で実施した大型事業の償還等により、今後数年間は上昇傾向が見込まれるが、適量適切な事業実施や償還額の平準化に配慮した財政運営に努める。財政見直しにおいては、平成22年度をピークに減少に転ずるものと見込んでいる。

人口1人当たり地方債現在高: 合併前市町村で実施した大型事業等により、類団平均を上回っているが、今後も合併特例事業債の発行による増加が見込まれる。通常債に比べ、有利な起債であるが、今後の事業実施については、緊急性や必要性を十分に考慮した借入れに努める。